

嶮山小通信

1月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代

すすき野小の「今」から「未来をひらく」

校長 山口 昭代

令和2年1月が幕開けしました。みなさま、新年おめでとうございます。

今年2020年、嶮山小学校に訪れる大きな出来事といえば、やはり一番は、4月から、すすき野小学校の友達と一緒に、新たな嶮山小学校をつくり上げる、という大事業に取り組んでいくことでしょう。これらの成功や効果は、ただただ「一人ひとりの気持ち」にかかっていると思っています。一人ひとりとは、全教職員と全児童と保護者のみなさまと地域のみなさま、お一人おひとりのことです。すべての人々が、同じ目標に向かって、明るく、あたたかく、力に満ちあふれたよい学校<進化した嶮山小学校 KENZAN STYLE>のつくり手であろうとする気持ちをもてたら、きっと多くのことが、しあわせな時間となって広がっていくと思うのです。おおらかに、寛容に、相手もまた自分と同じように一生懸命生きている、というイメージを働かせて、最高の出会いと、それに次ぐ、「あったかハーモニー」な日々を必ずや、実現させたいと思います。

さて、去年は、校長としてすすき野小学校を数多く訪問する機会に恵まれました。水泳記録会、運動会、ふれあい給食、児童音楽会、球技交流会などです。そこで、以前から見ていたはずの、すすき野小学校教職員のみなさまの着ているTシャツが改めて目に留まりました。色とりどりのTシャツの背に書かれた文字「今が一番大事な時だ」です。この言葉の出典は武者小路実篤の「もう一步。いかなる時も自分は思う。もう一步。今が一番大事なときだ。もう一步。」から取られたものだろうなあ、よい言葉は子どもたちへの力強いメッセージそのものとなるなあ、などと考えていました。そして迎えた青葉区児童音楽会、すすき野小学校の曲目は『ふるさと』と『校歌』でした。嶮山小学校4年生の発表は前日に済んでいたのですが、すすき野小学校4年生の歌う校歌をどうしても聞きたくて青葉公会堂に駆けつけました。そこで、驚きました。4年生の立派な態度や、明るく澄んだ美しい歌声が、一瞬、意志的で厳しい雰囲気になる局面に、あの言葉が歌われていたのです。「今が一番大事な時だ」、しかも繰り返し一番、二番、三番の中に三度もです。(作詞・作曲ともに著名な音楽家であった高木東六氏)



すすき野小学校の子どもたちはもちろん、先生方や職員の方々、保護者、卒業生、卒業生保護者、まちの方々のほぼ全員が知っていて、長きにわたって大事にし続けてきている校歌の歌詞のフレーズ「今が一番大事な時だ」に私も親愛と敬意の気持ちをもちました。今を大事に生きることが、嶮山小学校の校歌である「未来をひらく」につながっていくという素晴らしい気づきを得られ、感謝の思いがふくらみます。

まだまだこれからも「KENZAN40」は続いていきます。3月にはピアニストの梯様の演奏会があり、記念誌の完成

も楽しみです。6年生は、卒業までのかけがえのない時間を意識する季節となりました。健康に留意して、よい一年間にして参りましょう。保護者のみなさま、地域のみなさま、関係のみなさま、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

横浜市立すすき野小学校校歌
作詞・作曲 高木 東六

1 緑にかこまれ 空気はすんで
しずかな学校 ここはすすき野
からだきたえて 心をみがき
みんながそろうって 強くなるよ
※若葉のいのちを すくすくのぼろう
いまが一番 大事なときだ
あなたとわたしの 小学校だ
一生懸命がんばろう すずき野小学校※

2 明るい坂道 のぼるはたのし
きれいな学校 ここはすすき野
理想をかかげて 励ましあつて
みんなが仲よく すすもうよ
(※繰り返し)

3 輝く青空 さえずる小鳥
たのしい学校 ここはすすき野
希望をいだいて 真心こめて
みんなが教えを 守ろうよ
(※繰り返し)

横濱市立嶮山小学校
校歌 未来をひらく
作詞 小林 芳彦
作曲 文天

光かがやく
手を取り合
あふれる
希望も
伸びゆく
未来をひらく

この丘に
友と友
ははれはれと
どきどき
未来をひらく

あふれる
希望も
伸びゆく
未来をひらく

あふれる
希望も
伸びゆく
未来をひらく